



令和7年度 宇都宮市冒険活動運営協議会

日時：令和8年2月3日（火）9:30～11:00
会場：宇都宮市冒険活動センター会議室

1. 報告事項

- ・ 令和7年度事業報告について
- ・ 施設改修関係について

2. 協議事項

- ・ 令和8年度事業計画(案)について

3. その他

令和7年度宇都宮市運営協議会委員名簿

NO	区分	委員名	団体名等	備考
1	学識経験者	石塚 諭	宇都宮大学教授	会長
2		加藤 一美	篠井地区ゆたかな まちづくり協議会会長	新任
3		大野 英克	県林業センター場長	
4		坂内 剛至	ネイチャープラネット代表	
5	社会教育関係	中村 大介	市PTA連合会	新任
6		大関 啓二	市子ども会連合会	
7		櫻井 政義	市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会	
8		早川 慎一	市レクリエーション協会	
9		月橋 春美	県キャンプ協会	
10	学校教育関係	山田 明子	市小学校長会	新任
11		藤井 崇	市中学校長会	新任
12	公募	森嶋 礼奈	会社員	
13		塚原 綾子	会社員	

冒険活動センターの概要

○開 所：平成8年7月

○設置目的

未来を担う子どもたちに豊かな自然と触れ合う体験の場を提供することにより、健全な成長を促すとともに、市民の野外でのレクリエーション活動を推進する。

○管理運営：宇都宮市教育委員会事務局
学校教育課

< 人員配置 >

市職員	所長(1), 副所長(1) 指導主事(4), 主任(1)	計 7人
会計年度任用職員	管理業務(2), 看護業務(2) 受付業務(1), 専門指導業務(10) 事業支援業務(19), 事業支援看護業務(1)	計35人

○利用対象

区 分	対 象
①学校受入事業 (冒険活動教室)	宇都宮市立の全小中学校94校 小学5年生， 中学1年生
②一般受入事業	家族， グループ， サークル 社会教育関係団体， 学校 等
③主催事業	一般市民及び学校や各種団体等の指導者

○運営理念

日常ではない「環境」（自然， 地域， 施設， 人材）を生かし，
「プログラム」（動的・静的）を通じて，
市民(ゲスト)に感動と気づき， 充実感を提供する，
「宮っこのホーム・マウンテン」づくりを目指します。 *感動＝心が動いた経験

1. 報告事項



1. (1) 学校受入事業

ア. 冒険活動教室

成果	課題及び対応, 次年度へ向けて
<ul style="list-style-type: none">・ 宿泊数 : 全校 2泊3日・ 通常実施 : 小学校 50校 中学校 25校・ 利用人数 : 7, 832人 (R7.12月末現在)・ 熱中症対応計画による暑熱環境下での活動実施・ ニュースポーツの種目追加	<ul style="list-style-type: none">・ 活動中の怪我 : 2件 ⇒ 定期的な安全点検及び活動前後の場の安全確認の強化・ 改修工事に伴う施設の利用制限 ⇒ 関係機関と連携を図り学校利用計画を作成・ 活動プログラムの見直し

* 事後アンケートより * 原文のまま掲載

・ たくさんの経験の場と、あたたかでの的確なご指導のおかげで、たった3日間でしたが、子どもたちは大きく成長することができたと思います。学級開き・学年開きの延長戦としても、とても有意義なものとなりました。

・ 学校や生徒に判断を任せただけのところと、安全面などその場の指導を徹底してくださるところがあり、指導が適切であると感じました。



1. (1) 学校受入事業

イ. 冒険活動事業に関する調査研究

調査研究名	『宇都宮市の児童生徒及び保護者、教員の体験活動への関わりに関する実態調査』
調査目的	間接体験や疑似体験が多くなった現代において、子どもの成長にとって重要視されるのは直接体験だと言われている。そこで、 全市規模の調査を実施し、児童生徒及び保護者・教員の体験活動に関する実態を把握 することが、本市の学校教育における体験活動の充実に資すると考えた。併せて、 実態を踏まえ冒険活動教室を再評価し、本市における自然体験活動の基盤を整える。
調査概要	<p>(1) 測定方法</p> <ul style="list-style-type: none">・質問紙によるアンケート調査（国立青少年教育振興機構が実施した「青少年の体験活動等に関する意識調査（令和4年度調査）」の一部を抜粋して使用） <p>(2) 対象</p> <ul style="list-style-type: none">・宇都宮市立小学校1年生・2年生・3年生の保護者・宇都宮市立小学校4年生・5年生・6年生の児童とその保護者・宇都宮市立中学校2年生・宇都宮市立小・中学校に勤務する教職員 <p>※児童生徒、保護者については各校1学級抽出し実施 ※教職員については全教職員対象</p> <p>(3) 計画</p> <p>令和7年度：アンケート調査 令和8年度：調査結果をもとに冒険活動教室基本方針決定・発出</p>

1. (1) 学校受入事業

ウ. 研修会関係

研修会名	対象	実施方法	内容	備考
冒険活動実技研修会	小中学校の 引率教員	参集型	アクティビティの指 導法, リネンの使用 方法等	参加者: 33名 (中学校教員14名, 小学 校教員19名)
小学校指導者研修会	「冒険活動教室」 の計画作成者 (全校)	リモート	「冒険活動教室」の 計画調整	実施数: 7回
中学校指導者研修会				実施数: 20回
地域学校園指導者研修会		参集型		実施数: 2回

成果	課題及び対応, 次年度へ向けて
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の見学に合わせて, 注意点や指導のポイントを伝えることで, 事前指導に生かすことができる。 ・アクティビティの体験を通して, 児童生徒の立場や教員の支援ポイントを確認することができる。 ・学校園で顔を合わせて話し合いながら調整ができる。 ・オンラインにより, 移動時間の負担がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者以外の引率教員への周知が難しい。 ⇒継続して研修会時に周知の依頼をする。 ⇒児童生徒用ホームページの活用 ・実施時期の検討

1. (2) 一般受入事業

【利用人数の推移（延べ）】

R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
2,390人 (123団体)	4,822人 (147団体)	7,839人 (195団体)	6,816人 (197団体)	6,280人 (170団体)

R.7.12月末現在

【R7年度内訳】

・ 学校関係	2団体	105人	・ 幼保関係	1団体	48人	・ 社会教育	22団体	1,299人
・ 家族	40団体	318人	・ 行政関係	10団体	909人	・ その他	86団体	2,709人
・ 主催事業	9団体	900人				<u>計</u>	<u>170団体</u>	<u>6,280人</u>

成果

- ・ **キャッシュレス決済**による利用者の利便性向上
利用件数28件（前年比+16件）
- ・ 園内展示物等の充実

課題及び対応, 次年度へ向けて

- ・ 利用マナーが欠如している団体への対応
⇒ 基準に沿って対応し改善を求めていく
- ・ 持続可能な炊飯用具の貸出方法
- ・ エントランスホール情報掲示板設置検討

1. (3) 主催事業

ア. 家族ふれあいキャンプ 5/5 (月) ~6 (火) 1泊2日

対象	内容	募集定員	応募数	参加人数
宇都宮市在住または在勤で、 小中学生を含む家族	テント設営 (希望家族) 野外炊飯 等	12組	46組	12組 (42名)

成果	課題及び対応, 次年度へ向けて
<ul style="list-style-type: none">・ 家族で自由に過ごす時間を多く設定したことで、家族のふれあいを深めることができた。・ アンケート結果等から満足度が高いことが伺え、充実した活動が提供できている。	<ul style="list-style-type: none">・ 夜間の過ごし方について周知不足 ⇒ オリエンテーションの際に周知し協力依頼・ 家族中心で活動できるような支援体制を継続していく。

* 事後アンケートより * 原文のまま掲載

満足度：100% (回答：5件)

・ 期待を上回る楽しさで感謝しかありません。「楽しかった、また来たい、毎年来たい、ずっとこれが良い！」と、子どもに初めて言われました！助かりました。

・ テントからお風呂に行くときに息子といろいろ話しながら歩いた事など良い思い出ができました。



1. (3) 主催事業

イ. 冒険キャンプ 8/8 (金) ~9 (土) 1泊2日

対象	内容	募集定員	応募数	参加人数
宇都宮市在住の 小学校5年生～中学校3年生	食材獲得ラリー 野外炊飯 等	40名	40名	38名 (小5:12名,小6:16名,中1:6名,中2: 6名)

成果	課題及び対応, 次年度へ向けて
<ul style="list-style-type: none">・ボランティアスタッフにより, 宿泊における安全を確保することができた。・アンケート結果等から満足度が高いことが伺え, 充実した活動が提供できている。	<ul style="list-style-type: none">・計画が過密な部分があり, 慌ただしさがあった。 ⇒ゆとりある計画の作成・改修工事に伴う施設の利用制限 ⇒関係機関と連携を図り計画を作成

事後アンケートより 原文のまま掲載

満足度：100% (回答：23件)

・最初は出来ないと思っても出来たことがあったからすぐに諦めるのではなく, もう少し考えたりやってみたりしたい。
(参加者)

・親から離れて自分たちの力で過ごすことで, 自分の力が試せて楽しかったようです。(保護者)



1. (3) 主催事業

ウ. ちびっこキャンプ 8/23 (土) 日帰り 9/27 (土) ~28 (日) 1泊2日

対象	内容	募集定員	応募数	参加人数
宇都宮市在住の 小学校1年生～小学校2年生	ネイチャーゲーム 野外炊飯 等	24名	66名	8/23 24名(小1:12名,小2:12名) 9/27~28 23名(小1:11名,小2:12名)

成果	課題及び対応, 次年度へ向けて
<ul style="list-style-type: none">・ テント泊や活動等での成功体験が参加者の自信につながり, 参加後の生活でも生かされている。・ ゆとりのある計画のため, 職員が参加者一人一人に目を配り, 丁寧な支援を行うことができた。	<ul style="list-style-type: none">・ 改修工事に伴う施設の利用制限 ⇒ 関係機関と連携を図り計画を作成

* 事後アンケートより * 原文のまま掲載

満足度：100% (回答：16件)

- ・ 親元を離れて一晩過ごすことが初めてだったので, 親も子も不安がありました。笑顔で帰ってこれて良かったです。すぐに親を頼るのではなく自分で考えて行動してみる, そんな経験が沢山できたようです。(保護者)
- ・ 以前よりも自然や生き物, 環境に関心を持つようになりました。(保護者)



1. (3) 主催事業

エ. 家族ふれあいデイキャンプ 12/8 (日) 日帰り

対象	内容	募集定員	応募数	参加人数
宇都宮市在住または在勤で、 小中学生を含む家族	野外炊飯 ネイチャークラフト	15組	33組	13組 (49名)

成果	課題及び対応, 次年度へ向けて
<ul style="list-style-type: none">・ 家族のふれあいや野外活動への関心の高まりが見られた。・ 個別の指導支援をしたことが、参加者主体の事業運営につながった。	<ul style="list-style-type: none">・ 大人1名のみのお家の対応 ⇒ さらに丁寧な指導支援を意識する。

* 事後アンケートより * 原文のまま掲載

満足度：83% (回答：12件)

・ クリスマスが近いこともあり、食事ではクリスマスを感じる内容、制作ではお正月の飾りと季節感を感じられる内容と、よく工夫されているなと感じました。

・ スタッフの方は過度な干渉がなく、こちらが困っている様子があると近付いてきてくれるのが良かったです。



1. (3) 主催事業

オ. Bouken Day!

	対象	内容	募集定員	参加人数
第1回※	市内小学生とその保護者	火おこし体験 野外おやつづくり (チュロス)	10組程度 (1組4名まで)	10組 (28名)
第2回	どなたでも	草木染め	10組程度 (1組6名まで)	—
第3回	どなたでも	杉板焼き	10組程度 (1組6名まで)	—

※ 篠井地区市民センターと共催

【昨年度の様子】



1. (4) 自然体験活動に関わる人材育成事業

ア. NEALリーダー養成講習会（職員研修）

対象	内容
全職員	自然体験活動指導者資格と同等の知識・技能を身につけるための研修

成果	課題及び対応、次年度へ向けて
<ul style="list-style-type: none">各活動の指導支援の基礎を確認することができた。けが等に対する応急手当の仕方を学ぶことができた。提供している活動を体験することで、児童生徒への声掛けについて学ぶことができた。	<ul style="list-style-type: none">会計年度任用職員（日額者）に対する研修 ⇒空いている時間を活用して対応

* 事後アンケートより * 原文のまま掲載

- 「どうすれば、来てくれた子どもたちに最高の自然体験を提供できるのか」を常に皆さん考えて、指導、研修をしてらっしゃるということが分かりました。
- 看護研修で、足や腕の固定の仕方を再確認できた。



1. (4) 自然体験活動に関わる人材育成事業

イ. 宇都宮大学『野外教育』

宇都宮大学との連携

対象	内容	参加人数
宇都宮大学学生 (教員免許取得のための選択授業)	自然体験活動の指導能力を身につけるための講習・演習	20名

成果	課題及び対応, 次年度へ向けて
<ul style="list-style-type: none">・同日開催「冒険キャンプ」と連携を図ることで、実習等を通して、児童生徒の関わり方や自然体験活動における安全管理等の学びの場を学生に提供することができた。・ボランティアスタッフを受け入れたことが、円滑な事業運営につながった。・ 自然体験活動指導者（NEALリーダー）取得者20名。	<ul style="list-style-type: none">・ 事前オリエンテーションと授業の重複 ⇒ 大学と綿密に連携を図り日程調整を行う。・ 20～30名程度の参加者を想定した計画の立案

* 事後アンケートより * 原文のまま掲載

・ 子どもたちとも触れ合う機会があり、とても深く学ぶことができた。

・ ハードだったけど本当に楽しく良い思い出となりました。人として1歩成長できました。教師になった時、この学びを生かしていきます。



1. (4) 自然体験活動に関わる人材育成事業

ウ. 冒険活動アクティビティ研修 市教育センターとの連携

対象	内容	参加人数
宇都宮市立小中学校の教員	体験を通して、自然体験活動の意義や効果について理解を深める	7名

エ. ボランティアとの協働

内容	活動人数
センター事業における活動支援等	26名

オ. インターンシップ等受入

内容	実施校	活動人数
宮っこチャレンジウィーク	宇都宮市立中学校10校の2年生	36名
インターンシップ	駒澤大学, 白鷗大学, 帝京大学	3名

1. (5) 広報・理解促進事業

ア. 子どものもりフェスティバル 10/12 (日)

内容	協力団体 (11団体)	参加人数
園内施設を活用した様々な自然体験活動や協力団体の催し	<ul style="list-style-type: none"> ・LRT整備課 協働広報室 (新規) ・篠井地区ゆたかなまちづくり協議会 ・宇都宮市レクリエーション協会 ・宇都宮市ベエゴマ協会 ・宇都宮ネイチャーゲームの会 ・ロープレスキュー栃木 (新規) <ul style="list-style-type: none"> ・イトランド(株) ・松寿会 ・南図書館 ・栃木県林業センター ・宇都宮ヤクルト販売株式会社 	約500名

イ. 知ってもらおう運動 (広報活動の充実)

Instagram, フェイスブック	掲載記事 約44件 (R7.12月現在) Instagramフォロワー 1,100人突破 記事内容：自然, 主催事業, 一般利用等の案内・様子等
ホームページ	施設利用案内・主催募集案内 等

ウ. 他機関との連携

連携先	内容	連携先	内容
篠井地区市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ・相互に常設掲示スペースの設置 ・Bouken Day! の共催 	U@りんくす (市教育センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・園内動画・写真等の提供 ・オフ会にて施設利用
篠井農産加工所	<ul style="list-style-type: none"> ・手ぶちうどん作り (学校1件) 	篠井地区の方々	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくろうの森 ・一輪草群生地整備
県林業大学校	<ul style="list-style-type: none"> ・園内を演習場として活用予定 		

1. 施設改修関係

(1) 職員による修理修繕

- ・ 常設テント，仮設テントの補修
- ・ ロッジ建具，園内階段の修復
- ・ 樹木の伐採
- ・ テントサイトデッキ改築 等



(2) 業者による修繕

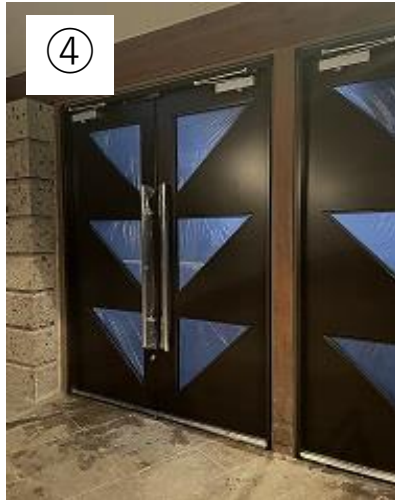
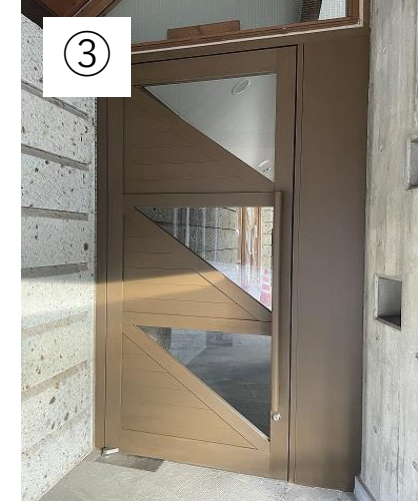
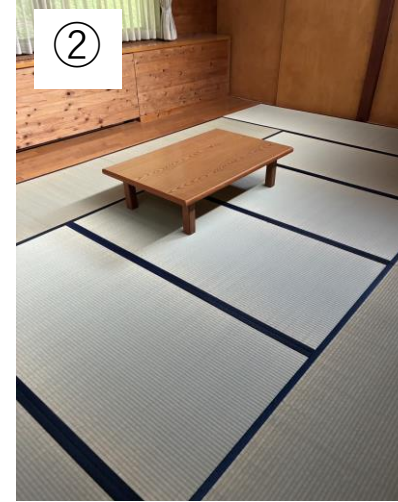
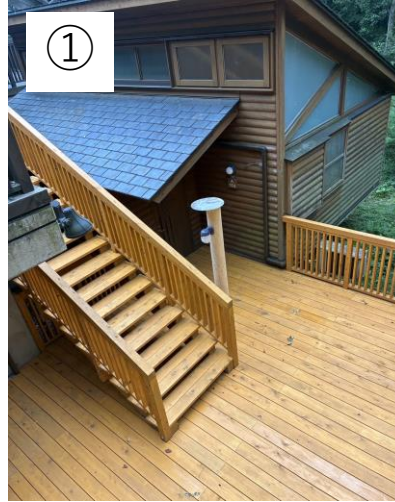
- ・ ロッジ全棟ブリッジ
- ・ ロッジトイレ床
- ・ 樹木の伐採 等



1. 施設改修関係

(3) 大規模改修関係

- ・ ロッジA棟1階デッキ (①)
- ・ ロッジA棟畳入替 (②)
- ・ エントランスホール扉 (③④)
- ・ 炊飯場膜屋根 (⑤⑥)
- ・ 生ごみ処理機撤去 (⑦⑧)
- ・ 炊飯場上トイレスロープ
- ・ 管理棟空調 等



2. 協議事項



2. 協議事項 令和8年度事業計画(案)について【別紙】

(1) 学校受入事業

【方向性】適切な支援体制のもと、安全かつ円滑な運営を行う。

冒険活動教室	<ul style="list-style-type: none">・ 全校2泊3日(小学校69校, 中学校25校)
調査研究	<ul style="list-style-type: none">・ 『宇都宮市の児童生徒及び保護者, 教員の体験活動への関わりに関する実態調査』を踏まえ冒険活動教室を再評価し, 本市における自然体験活動の基盤を整える。
冒険活動実技研修会 (指導者養成)	<ul style="list-style-type: none">・ 各学校の引率者を対象に, 活動の指導方法, 施設の利用方法等についての実技研修
冒険活動指導者研修会	<ul style="list-style-type: none">・ 小学校指導者研修会・ 地域学校園指導者研修会・ 中学校指導者研修会

2. 協議事項 令和8年度事業計画(案)について【別紙】

(2) 一般受入事業

【方向性】安全・安心に利用できる環境整備を進めるとともに、
利便性の向上やおもてなしの充実を図る。

公園・施設の安全管理	<ul style="list-style-type: none">・ 定期点検及び法定点検の確実な実施・ 危険個所の速やかな修繕等・ 施設の大規模改修 (ワーク棟, アリーナ空調, ロッジC棟デッキ 等)
サービス(おもてなし)充実	<ul style="list-style-type: none">・ 予約システムの検討
レストランとの連携	<ul style="list-style-type: none">・ 定例会

※R8年度一般利用可能日 164日(R7比較+16日) 施設の利用制限日も含む

2. 協議事項 令和8年度事業計画(案)について【別紙】

(3) 主催事業

【方向性】 事業の効果的・効率的実施や活動の充実により、
市民の自然体験活動の機会を充実する。

事業	日程	対象・人数
①家族ふれあいキャンプ	5/5～6	市内在勤または在住で、小中学生を含む家族15組
②冒険キャンプ	8/21～23	市内在住小5～中3年生35名
③ちびっこキャンプ	8/29, 9/19～20	市内在住小1～2年生24名
④家族ふれあいデイキャンプ	12/6	市内在勤または在住で、小中学生を含む家族15組
⑤Bouken Day!	1/24, 2/21, 3/21	どなたでも各日10組程度

2. 協議事項 令和8年度事業計画(案)について【別紙】

(4) 自然体験活動に関わる人材育成事業

【方向性】自然体験活動指導に係る知識・技能を持つ人材の育成や受入れを行いながら事業運営を行う。

NEALリーダー養成講習会 (職員研修)	冒険活動センター職員
宇都宮大学「野外教育」 (3泊4日)	宇都宮大学共同教育学部学生
冒険活動アクティビティ研修	宇都宮市立小中学校の教職員
冒険活動センター ボランティア事業	自然体験活動指導者, 学生等
インターンシップ等の受入	宇都宮大学共同教育学部等
宮っこチャレンジの受入	宇都宮市立中学校2年生

2. 協議事項 令和8年度事業計画(案)について【別紙】

(5) 広報・理解促進事業

【方向性】 ホームページやSNS等及び他機関との連携を活用し、冒険活動センターの理解と利用を促進する。

子どものもりフェスティバル ※30周年記念事業も兼ねて実施予定	実施日：10/11（日） 施設の開放，自然体験 等
知ってもらう運動	広報うつのみや 情報誌「こどもるっくる」 SNS，ホームページ等を活用した情報発信
所報の発行	年1回の発行（ホームページへの掲載）
他機関との連携	篠井地区市民センター 栃木県林業センター・林業大学校 親学出前講座 U@りんくす

3. その他



3. その他

- 野生動物関係について
- 園内の樹木管理について

冒険は
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

宇都宮市
冒険活動センター

